

岐阜商工信用組合

岐阜市・金融機関

平成30年度
認定

事務効率化のために提案を募る制度や8年前から職員を役職名ではなく「さん」付けで呼ぶ運動が定着。もしもの時に安心して治療等に専念できるよう私病欠勤時の給与（基本給、扶養手当全額）は3カ月間支給するなど男女問わずに働きやすい職場づくりを進める。

従業員数／男性184名 女性162名 計346名 ※平成31年1月現在



2011年度に初の女性支店長となった現・営業推進1課長の熊野香織さん。高校3年生の息子を育てながらやりがいを持って職務に励む。

職員の提案、採用して働きやすく

金融業・保険業

直近3年間に採用した職員38人中29人が女性で、男性と同様に

次期管理職候補として育成しているため、入社3年目の女性職員を新人の教育担当に付けたり、2011年度からは窓口マネージャー職（係長級）を設けて女性を積極登用している。現在は4人の女性が管理職（支店長、副支店長、営業推

進課長、事務管理課長）として活躍している。

男女問わずより働きやすい職場となるよう、15年度には「窓口事務効率化提案」制度を開始。全職員から広く提案を募り、提案検討メンバーに任命された女性の窓口マネージャーら9人が毎月の会議で採用できるかを話し合っている。制度開始から17年度末までに227件中102件を採用、結果は社内イントラネットで発信。提案者には1件300円、採用された場合は効果度に応じ1000～5000円の報奨金の支給もある。提案検討メンバーの齋藤真弓さんは、「これまでに内部の報告書の簡素化や来店者の記入書類の項目削減などを採用し、作業が効率化された。その結果、他の業務や自分の勉強に使える時間が増えた」と話す。その他、休日出勤や20時以降の残業は本部の許可制



提案検討メンバーに任命された窓口マネージャーらが集まって毎月開かれる提案検討会。窓口事務効率化のために全職員から寄せられた提案の採用について、女性管理職の近藤課長を中心に話し合う。

とするなど職場を挙げた取り組みが定着したこともあり、月所定外労働時間は16年度から17年度は約3時間（25%）削減された。

地域貢献活動にも力を入れており、支店ごとに公園清掃や祭りの手伝いなどを実施。業務企画室が年間予定を把握して実績管理表を作成、活動の様子はHPで公表するなどしている。